

アスモ新聞はアスモのホームページ www.asumo-kaigo.jpからもご覧になれます。
上記のアドレスか【在宅介護センター・アスモ】で検索してください。
「人に喜ばれる仕事を！」のアスモは、
みなさまとの新たな出会いをお待ちしております。



「心温かきは万能なり」



代表取締役 花堂浩一
鍵山 秀三郎(かぎやま ひでさぶろう)氏のお話です。

いつもアスモ新聞をご覧頂きありがとうございます。今日は、私にとっては耳の痛いお話です。自動車用品を販売する(株)イエローハットの創業者で、そうじをするために世界中に出かけて、生き方の基本を説いている

自分の会社のそうじから始まり、結果として公共施設のトイレや街頭のそうじをする『日本を美しくする会』まで発足させた鍵山氏は、身をもって社会還元を実践する日本では稀な企業人です。

鍵山氏は「箸よく盥水(ばんすい)を回す」(盥水とはたらいいっぱい汲んだ水)という諺を引用し、盥の水に箸を入れてかき回すと、はじめは箸が回るだけですが、やがて小さな渦ができ、盥全体の水が回り始める。小さなことでもあきらめずに徹底してやり続ければ大きな力になることを講演などで話されています。鍵山氏がなぜそこまで掃除にこだわり、取組んできたのでしょうか？



昭和28年、自動車用品を扱う会社に就職が決まり東京に出てきたのは19歳の時です。職場は仕事が終わるとそのままゴザを敷いて寝るというような劣悪な環境です。まだ何も仕事ができない鍵山さんは、何とか会社のお役にたきたいと誰よりも早く起きて掃除をしますが、それが先輩の気に障り、よくいじめられたのです。社長からも「掃除をしたって儲からないよ」と嫌味を言われる始末です。

やがて6年が経ち、鍵山さんは独立をします。自転車の荷台に自動車部品を積んで訪問営業を始めますが、話を聞いてくれる人は少なく、「店に入ってくるな」とほうきで追い払われたり、名刺を目の前で破られ、ストーブで焼かれたりします。

鍵山さんには、こんな思いがありました。「あんなことをする人は心が荒(すさ)んでいる人ではないか」「綺麗な環境の中にいればきっと心も綺麗になる」「私のように惨めな思いをする人を少しでも減らしたい」「ごみを一つ拾えば一つ綺麗になり、その分だけ人の心も綺麗になる」。自身と同じような惨めな思いをする人をこの世から一人でも減らしたい、と。

また、それとは逆に心の温かい人にも出会ってきました。昭和37年2月、みぞれの降る寒い日、カッパを着て自転車に荷物を積んで行商に出ます。ある家の前で自転車を止めました。玄関の戸を開けると、いきなり手が出てきて、鍵山さんの濡れた手を掴み、優しい声で、「今日は寒いでしょう。中に入りなさい」

その方は、真っ赤に燃えているストーブの前に鍵山さんを連れて行き、「手が冷たいでしょ。当たりなさい」そして串に刺しただんごを三つ持ってきてくれました。鍵山さんは「ありがとうございます」とお礼を言おうとしたのですが、喉の奥が締め付けられたような感覚になり声が出なかったのです。「世の中には何と心の温かい人がいるのだろう」と心がとても温かくなったと述懐しています。後に分かったことですが、その方は歌手の藤山一郎さんだったのです。

鍵山さんは「心温かきは万能なり」どんな地位や肩書き、学歴、知識、才能よりも「心が温かい」ことが一番価値あることだ、と言います。心の温かい人は、多くの人たちの心を癒すことができます。そのために世の中を少しでもきれいにし、心が温かく優しい人を作りたい、と。こうして鍵山氏の箸のように小さな取りくみは、全国に広がっていったのです。

鍵山さんは「心温かきは万能なり」どんな地位や肩書き、学歴、知識、才能よりも「心が温かい」ことが一番価値あることだ、と言います。心の温かい人は、多くの人たちの心を癒すことができます。そのために世の中を少しでもきれいにし、心が温かく優しい人を作りたい、と。こうして鍵山氏の箸のように小さな取りくみは、全国に広がっていったのです。

私達のお仕事は、決して華やかなお仕事ではありませんが、現在国が抱える最大の課題を最前線で守っている仕事であり、それを支えてくださっているのがスタッフであり、ヘルパーの方々だと思っています。温かい心なくしてはできないこのお仕事を永く続けられるよう、これからもチャレンジしていきたいと思ひます。



プロフィール



名前：花堂 博子（はなどう ひろこ）

出身地：愛知県名古屋市

誕生日：1986年8月29日

血液型：B型 星座：乙女座

資格：社会福祉士

住環境コーディネーター2級

入社の経緯

前職は、自宅での生活を希望される方を支えたいと思い、福祉用具を提供する仕事をしていました。そんな中で、自宅での生活が難しくなる方も多く、その悩みは切実なものでした。そのような方の、最後の生活の場と一緒に探すことができたなら、、、と思い、転職することを決めました。

メッセージ

誰もが自宅での生活を続けたいと願うのは当然のことです。その願いを断念せざるを得なくなった方の気持ちに寄り添い、最適な施設選びのお手伝いが出来ればと思います。ご本人様はもちろん、ご家族様にも「シニアハウスコムの花堂に頼んでよかった」と感じていただける相談員を目指します！

居宅介護支援

もったいないの国 日本

生かされず消えていく物たちの悲劇...

毎年節分に併せ販売される恵方巻が売れ残り大量廃棄されることから、国が削減を呼びかける事態になったことは記憶に新しいところであります。

まだ食べられる食品を廃棄してしまう「食品ロス」問題。日本では年間600万トン以上（それでも世界6位）発生しているといわれ、これは飢餓に苦しむ人々への食糧援助量の約2倍に相当するそうです。

日本での特徴として高温多湿、食品が傷みやすくお持ち帰りができない、賞味（費）期限に敏感であるなどが挙げられます。欠品を出さないよう多く生産、発注し、なんと消費者に届く以前に廃棄、撤去されるものも多いとのことです（涙）。また消費者も巧みな広告、魅惑の食品にそそられ、つい必要以上に購入...それによって経済が循環しているというこの現実...

諸外国では既にフードシェア、月定額を払うと余ったものを無料で食べられるシステムや、食品ロスに対処したスーパーマーケットがあり、「無駄な食品廃棄を止めたいならみんなで協力すべき」との考え方の下に展開されているようです。またフランスなどのように食品ロスに対し罰金徴収する国もあるようです。

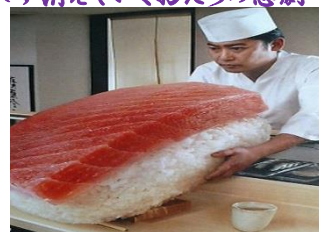
ケニアのノーベル賞受賞者が世界に広めた「MOTTAINAI」（もったいない）という、なんと美しい日本語...これは地球資源に対するRespect（尊敬の念）が込められているそうです。その一方経済の合理性でいうと止められないのも現状で...

我が日本でもフードシェアを試行的に行う動きや、大手スーパーなどがこの問題に様々な手法で、少しずつではありますが取り組む動きもあるようです。私たちも少しずつ意識できれば...と願う今日この頃であります。

◎もったいない 売れんどお店は火の車（詠人不知）◎買うワタシ 日本の経済支えてる（詠人不知）

◎買わぬなら 買わせてみようホトギス（詠人不知）

介護支援専門員 浅津 朗



たんぽぽ介護



暖房に注意して安全な生活を

暖房は寒い季節の生活に欠かせないものです。インフルエンザやヒートショックなどの健康トラブルを防ぐ為にも、暖房器具を適切に使って暖かくすごしたいものです。

しかし、そのような暖房器具でも、使い方を間違えると火事ややけどの危険性につながりかねません。

そこで、今回は**安全性**と**健康面**を考えた暖房器具の選び方と使い方についてお話します。



暖房選びのヒント

最も一般的な暖房器具のエアコンは、**部屋はすぐ暖まりますが**、エアコンの使用中はこまめに**換気**をする必要があり、換気の度に部屋の温度が下がるので、その分**ほかのタイプの暖房と併用**することを考えましょう。

暖房のタイプは場所に合わせて選ぶことも大切です。特に注意したいのが、**脱衣所(洗面所)**と**トイレ**です。脱衣所は衣服を着ていない、または濡れた状態で使うことが多いため、ぜひ暖房が欲しい場所ですが、ここにファンヒーターを置いてしまうと、風によって**かえって体が冷えやすくなってしま**うので、脱衣所には**パネルヒーター**や**床暖房**の方が向いていると言えます。

体に最も近くなる**カイロ**、**湯たんぽ**は、手軽に暖を取れる点では随一ですが、**低温やけど**に注意しなくてはなりません。衣服の上から装着する、または布を巻くなどして、**決して肌に直接触れない**よう心がけましょう。

新渡戸文化短期大学の学生さんが、2月中旬に介護実習に来られ、ご利用者様のお宅にお邪魔させて頂きました。

実習生の皆さん、今回の経験を活かし、これからの社会生活頑張ってください！

実習に関わってくださったヘルパーさん、御利用者様ありがとうございました。



春の足音が聞こえてきそうですが、まだ寒い時期が続きます。風邪を引かないようお過ごしください。



福祉用具レンタル・販売 住宅改修



こんにちは！福祉用具相談員の佐藤英郎です。ベッドの上で長く同じ姿勢を取ると、身体の一部に圧力がかかり続け、血流が悪くなり床ずれが発生しやすくなります。床ずれ防止用具を使用して、リスクを軽減することが重要です。では、どんなことに気をつけて選べば良いのでしょうか？ポイントを3回に分けてお話ししています。第2回のテーマは「**床ずれ防止用具には、どんなタイプがあるの？**」です。

👉 床ずれ防止用具には、どんなタイプがあるの？

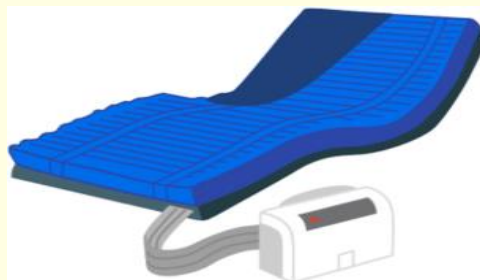
静止型マットレス
やわらかな素材を使うことで、体圧がかかる面積を広げます。

静止型マットレスの中身はウレタンフォームやゲルなどのやわらかな素材。そのため、マットレスが体を包み込むようなかたちになり、体圧が分散され、床ずれができにくくなります。ほかに弾力性が高い高反発タイプもあります。



圧切替型マットレス
電動で空気を送り込み、体圧がかかる位置を変えます。

圧切替型マットレスは「エアセル」と呼ばれる空気の筒でできています。エアセルに電動で空気を送り込み、内部の空気を定期的に入れ替えることで形状を変え、圧がかかる部位を移動させていきます。



「**床ずれ防止用具を選ぶときのポイント**」
今回は、このテーマでお送りします。お楽しみに！

事業内容:

介護職の皆さんと介護施設を繋ぐ、就職支援のお手伝いを新たに始めます！

経緯:

有料老人ホーム紹介(シニアハウスコム)が始まって11年目になりますが、有料老人ホームを始め介護施設の運営者様から介護職員不足の声が非常に多くなってきました。

そこで、有料老人ホームのお困りごとを解決することが、入居者の皆様やそのご家族様の「安心」に繋がると考え、介護職員の紹介事業を始めることになりました。

介護職の皆様にとっても、本当に自分に合った職場に出会えるきっかけになると思っております。もし困っている方がいらっしゃいましたら是非お声がけください！

1対1のご面談やお電話で、どんなご相談も丁寧に伺わせて頂きます。



介護職の方々・介護を始めたい方々

相談員:新井早苗



1月からアスモに入社致しました。宜しくお願い致します！

シニアハウスコムが積み上げた信頼の実績と連携施設の中から、個人個人に合った介護施設をご紹介します。



介護施設

暮らしと相続

平成27年1月から、相続税および贈与税のルールが大幅に変わり、課税対象となる方々が増える見込みです。当社にもいくつかお問合せがあったことで、専門家のご意見をお聞きし共に勉強していきたいと思ひ、平成27年3月号の紙面より、「暮らしと相続の相談窓口」を運営されている相続法務 成城事務所の門脇紀彦先生に記事連載のお願いをいたしました。

『作成した遺言書がつかえない?』

Q: 祖父が私の父(祖父の長男)へ相続させるとした遺言書を遺して亡くなりました。しかし私の父は5年前に先に亡くなっています。当然父の代わりに私が相続できると思っていましたが、他の親族から相続できないと言われていました。本当に相続できないのでしょうか?

A: 遺言書の内容が単純に「長男へすべて相続させる」と書かれていて、長男が遺言者より先に亡くなっている場合、当然に長男の子供がすべて相続することはできません。「ただし、長男が先に亡くなっている場合には長男の子にすべて相続させる」という記載がなければならないのです。「ただし～」の部分「予備的遺言」と言います。

最近、この予備的遺言の記載がないために、円滑に相続が出来ないケースが多くみられます。上記の場合、遺言書は使えず法定相続人で遺産分割協議をしなければなりません。ご自身で遺言書を作成する場合、将来起こり得るあらゆる状況を想定して作成する必要があります。今後遺言書に関する大きな法改正も控えていますので専門家へ相談したり、公正証書で残すことで万全な遺言書を作ることが肝心です。

ご相続の生前対策についてのお問い合わせはこちらにご連絡ください。「アスモさんの紹介で」と言っていたらとご相談は無料になります。



東京都世田谷区祖師谷3丁目4番7号伊地智ビル1階
「暮らしと相続の相談窓口」
相続法務 成城事務所
東京司法書士会世田谷支部 支部長 門脇紀彦
電話03-5429-1096

ケアプラン作成 在宅介護センター・アスモ
TEL 03-5318-4007
FAX 03-5318-4008

福祉用具レンタル・販売・住宅改修 在宅介護センター・アスモ
TEL 03-5318-4007
FAX 03-5318-4008

訪問介護 たんぽぽ介護
TEL 03-5318-5731
FAX 03-5318-4008

有料老人ホーム紹介 シニアハウスコム
TEL 03-5318-4017
FAX 03-5318-4008

明日も笑顔

アスモ

発行所 株式会社アスモ 〒165-0026 東京都中野区新井1丁目26番4号-2F